

キャラクター名 豆千代 プレイヤー名 \_\_\_\_\_

<b>種族</b>	ライカンスロープ	<b>種族特徴</b>	暗視/獣人の力/獣化/弱点(銀+3)		
<b>生まれ</b>	軽戦士	<b>性別</b>	女性	<b>年齢</b>	17
<b>冒険者Lv</b>	6	<b>経歴</b>	自分にそっくりな人物を知っている		
<b>経験点</b>	8050		大喧嘩をしたことがある のめり込む趣味があった		

<b>技</b>	10	能力値	<b>A-F</b>	<b>成長</b>	<b>他修正</b>	能力値	ボーナス	<b>技能</b>	Lv.	<b>技能</b>	Lv.
		<b>器用度</b>	8	5		23 + 2	4				
<b>体</b>	7	<b>敏捷度</b>	18	2		30	5	レンジャー	5		
		<b>筋力</b>	12	3		22 + 2	4	エンハンサー	2		
<b>心</b>	5	<b>生命力</b>	8			15	2				
		<b>知力</b>	9	1		15	2				
		<b>精神力</b>	12	1		18	3				

<b>戦闘特技</b>				
治癒適性	2122 p			p
かいくぐり	1B29 p			p
武器習熟A/ソード	1B31 p			p
挑発攻撃	1B37 p			p
				p
				p
				p
				p
				p
				p

<b>言語</b>	<b>会話</b>	<b>読文</b>
交易共通語	○	○
汎用蛮族語	○	○
ライカンスロープ語	○	○

<b>練技/呪歌/騎芸/賦術</b>	
キャッツアイ	
ガゼルフット	
星は盾を掲げる	
幸運は勝ち戦を授ける	
星は剣を導く	

<b>名誉アイテム</b>	<b>点数</b>
名誉点 所持 50 /合計 50	

<b>技能</b>	技能 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラブラー	0			
フェンサー	6	10	11	10
シューター	0			

<b>鎧と盾</b>	必要 ランク	筋力	回避力	防護点
鎧 着物 (アラミドコート)		5	1	2
盾 番傘 (バックラー)		1	1	-
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能	フェンサー	合計値	13	3

<b>武器</b>	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>7</b>	<b>8</b>	<b>9</b>	<b>10</b>	<b>11</b>	<b>12</b>
鉄扇 (ディフェンダー)	1H	12		2d+ 10	9	11	13										
暗器【簪】 (リッパーナイフ) (鉄扇:ディフェンダー装備中は、防護+1)	1H投	5		2d+ 10	8	11	5										
				2d+													

<b>一般装備品</b>	(消耗チェック)
冒険者セット	○□□○□□
ヒーリングポーション	○□□○□□
アウエイクポーションx3	○□□○□□
手鏡	○□□○□□
瑪瑙の簪	○□□○□□
□ツド (占具/両/器用)	○□□○□□

<b>保存食(1W)</b>	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
所持金	10030 <b>G</b>
預金・借金	<b>G</b>

<b>制限移動</b>	<b>通常移動</b>	<b>全力移動</b>	<b>回避</b>	<b>防護点</b>	<b>HP</b>
3 m	30 m	90 m	2d+ 13	3	33

<b>魔物知識/弱点</b>	<b>先制力</b>	<b>生命抵抗</b>	<b>精神抵抗</b>	<b>MP</b>
2d+ 0/X	2d+ 0	2d+ 8	2d+ 9	18

<b>魔法技能</b>	<b>Lv.</b>	<b>魔力</b>	<b>魔法技能</b>	<b>Lv.</b>	<b>魔力</b>

<b>装備品</b>	<b>説明</b>
頭	
耳	
顔	
首	
背中 ウェポンホルダー	武器・盾を1個背負い補助動作で切り替える
右手 宗匠の腕輪	器用度+2/割+14
腰 頑健なる帯(ブラックベルト)	防護点+1
足	
その他	

<b>装備品</b>	<b>説明</b>
左手 筋力の腕輪	敏捷度+2/割+14

<b>その他メモ</b>	<b>自動失敗 チェック</b>
艶小路 豆千代 (あでのこうじ まめちよ)	○□□□⑤
東方の国JAPANで、国家自警団「まいこずずず」に所属していたライカンスロープ(人狼)の舞妓。 現「まいこずずず」の座長「艶小路 藤千代」に、赤ん坊の頃に捨てられていた所を拾われた。 以来、世間にはライカンスロープであることを隠しながら、舞妓になるための修行をしながら暮らしていた。 藤千代の他には、幼馴染の「音無 魅沙」が彼女の正体を知っている。 親が、組織の代表であるという同じ境遇の魅沙とは古くからの親友。 そのため、彼女が生業としてきた「ろっく」に傾倒する少女時代を送っていた。 しかし、舞妓としての道を歩むためにあつたため、彼女の知らぬところで 藤千代は魅沙に「うちの子にこれ以上近づかないように」と釘をさしたことにより やがて2人の関係はぎくしゃくし、遂には大喧嘩をしてしまう。	○□□□⑩ ○□□□⑮ ○□□□⑳ ○□□□㉑ ○□□□㉒ ○□□□㉓ ○□□□㉔ ○□□□㉕